

システムキッチン用 スライドライスボックス (ブルムレール専用)

RS-121

・スライド収納への対応

キッチンのスライド収納化に伴い現状のスライド収納部に納まる計量式米びつがありませんでした。スライド米びつは幅300mmのスペースを利用し、スライド収納を可能にした初めての計量式米びつです。また、キッチンレイアウトによって受皿の取出し方向を施工後、お使いいただいているお客様でも左右の入れ替えが可能です。

商品寸法

幅 25.1 X 奥行き 49.7 X 高さ 34.25(レール取付時33.3)cm

梱包寸法

幅 32.1 X 奥行き 57.6 X 高さ 40.3cm

製品重量 約3.8Kg

梱包重量 約4.8kg

JAN 4904870139623

お米収納量 上面投入口から 約12Kg

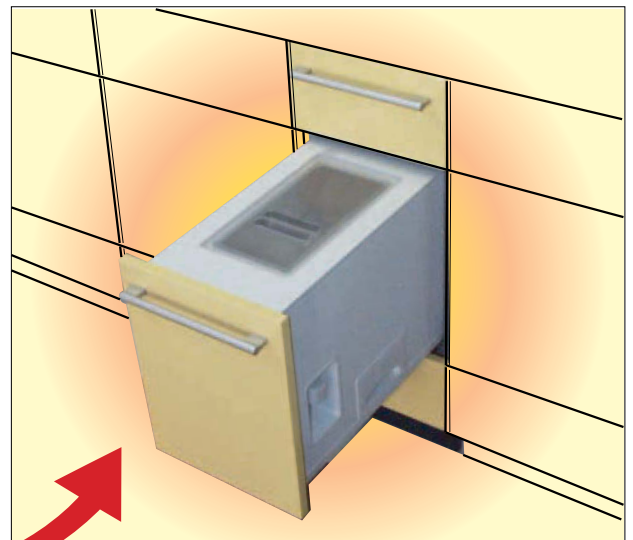
計量方式 1合(約150g)

受皿容量 4合(約600g)

使用レール blum タンデムL=450

使用クラッチblum 純正クラッチ

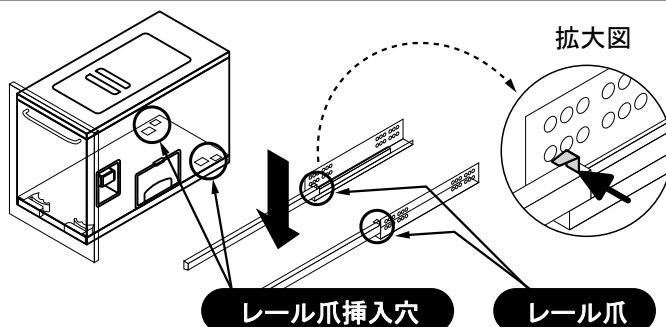
※上記使用レール、使用クラッチは、製品には含まれておりませんので御了承ください。



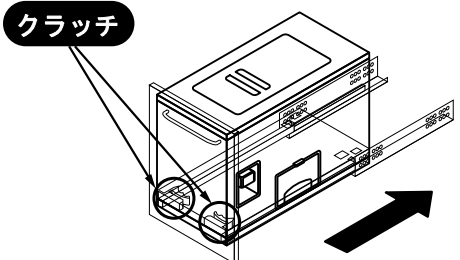
クラッチ

blumタンデム560H L=450

ライスボックスの取付方法は、とても簡単!!



①レールを引き出し、ライスボックス底板のレール爪挿入穴にレール爪が入るようにライスボックスをまっすぐ下に下ろします。



②ライスボックスを静かに、キッチンに押し込むとレール爪がレール爪挿入穴に掛かります。レールの前端はライスボックス底板のクラッチに掛かります。



このたびは、ライスボックスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、工事完了後お客様に必ずお渡しください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

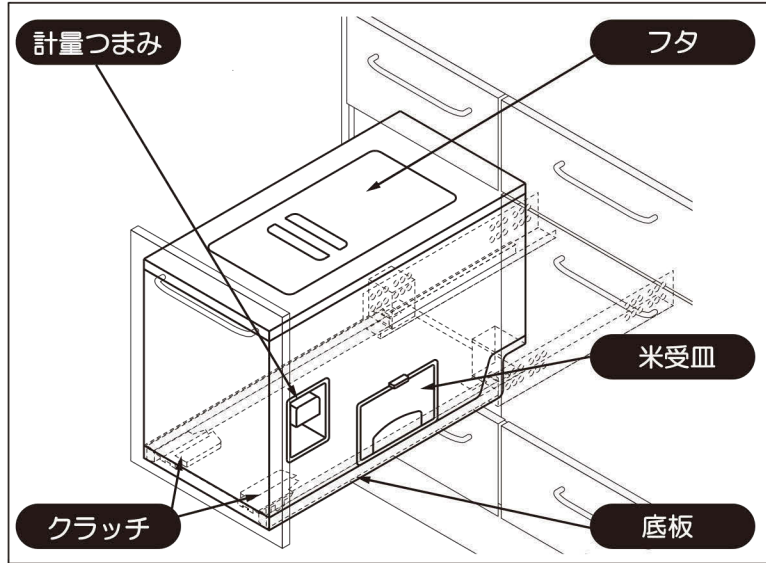


注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【各部の名称としくみ】

- **フタ**
お米を入れるときは、このフタを取り外して入れてください。お米は最大**12kg**入ります。
- **計量つまみ**
お米を取り出すときは、このつまみを操作します。**1回の操作で、1合(約150g)**のお米が受皿に出ます。
- **米受皿**
お米を取り出すときの容器です。1度に4合(約600g)まで取り出せます。
- **底板**
ライスボックスをレールに固定する穴、クラッチがあります。
- **クラッチ**
ライスボックスをレールから、取り外し/取り付けの際に使います。(【ライスボックスの取り外し/取り付け】の項をご覧ください。)



【お米の入れ方】

- スライド収納部のライスボックスを引き出しフタを取り外してお米を入れてください。
- お米を入れる際は、手でならしながら均等にお米を入れてください。
- ライスボックスには、白米以外は入れないでください。

【計量の仕方】

- 計量つまみをゆっくり、確実に下まで押し下げます。1回の操作で1合(約150g)のお米が受皿に出ます。
- お米の計量は、お米を入れたときとなくなる時の数回は、表示されている量と異なって出てくる場合があります。お米を入れた直後は、計量つまみを押しお米を取り出し、お米を元に戻してください。2回目から正しい計量ができます。
- 正確に計量するため、計量つまみは下までしっかり押し**お米が出終わってからはなしてください。連続でご使用の場合は、2～3秒待ってから押すようにしてください。**
- 米受皿は一度に4合600g(約600g)まで取り出すことができます。それ以上は米受皿からあふれることがあります。一度米受皿を空にしてから使用してください。
- **計量後は、米受皿を本体にしっかり差込んでください。米受皿がはみ出したまま本体を動かすと破損する恐れがあります。**

【ご使用上のお願いとお手入れ方法】



注意

- 清掃時には手袋等の保護具を着用し、ケガをしないよう注意してください。
- システムキッチンにライスボックスを出し入れする際、急な操作はしないでください。収納しているお米がフタを押し上げて、ライスボックスからお米がこぼれる恐れがあります。
- 定量のお米が出なかったり、計量つまみが戻らない場合は、レシートや防虫のための異物が落ちてつままっている場合がありますので、内部の確認をしてください。また、お子様がおもちゃを入れたり、お米を入れるとき、袋の切れ端等が入らないよう充分注意してください。
- お米の貯蔵部やお米の出口は清潔に保つため、定期的にから拭きを心掛けてください。さびるおそれがありますので洗わないでください。
- ライスボックスの上に重量物や熱いやかん等は置かないでください。破損する恐れがあります。
- 落ちにくい汚れは中性洗剤で汚れを落としてから、乾いた布でから拭きしてください。みがき粉、シンナー、ベンジン等は使用しないでください。
- 本品の改造は絶対にしないでください。

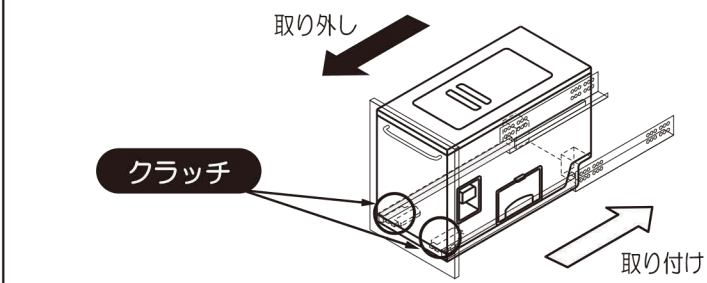
- 定期的になじみのゆるみなどがなければ確認してください。
- お米を追加するときには、先に入れたお米が残らないように四隅のお米を中央に寄せてください。更に2～3回に一度は計量つまみを用いてお米を出しきってください。
- このライスボックスは、計量法に基づくものではありません。目安としてご使用ください。
- 破碎米、米ヌカ、異物等が入りこみ米の計量が不均一になる場合があります。その場合は「計量つまみ」を2～3回強く動かしてください。
- 修理を必要とするときは、お買い上げの販売店か、本説明書に記載のメーカーにご相談ください。
- 本品の廃棄にあたっては、お住まいの市町村などの注意に従って、正しい廃棄の方法をお守りください。
- ライスボックスは本説明書以外の目的に使用しないでください。

【ライスボックスの取り外し/取り付け】

ライスボックスの取り外し

①本体をいっぱいまで引き出してから、裏側のクラッチをにぎりながら手前に5cm程引くとクラッチが外れます。

②ライスボックス本体を持ち、まっすぐ上に持ち上げてください。



注意

- ライスボックスの脱着に際して、ライスボックスの中にお米がないことを確認してから脱着してください。
- ライスボックスを脱着するときに、指などを挟まないように注意してください。

ライスボックスの取り付け

②ライスボックスを静かに、キッチンに押し込みます。「カチッ」とかみ込む音がするまで押し込んでください。

①レールを引き出し、ライスボックスをレールに載せます。

【受皿挿入ロカバーの取り外し/取り付け】

- ライスボックスをお使いの際に、受皿を取り出す方向が使いにくい場合、以下のように取り出し方向を左右入れ替えることができます。



注意

挿入ロカバー・フタを外す際は、手袋等の保護具を着用し、本体銅板部分の端面などでケガをしないよう注意してください。

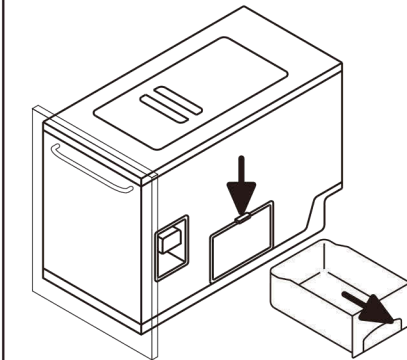


注意

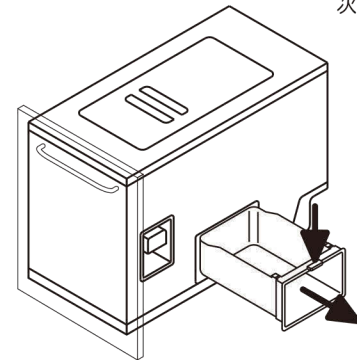
挿入ロカバー・フタを下記以外の方法で外すと、突起部の爪が折れて取り付けなくなることがあります。

受皿挿入ロカバー⇒挿入ロフタ

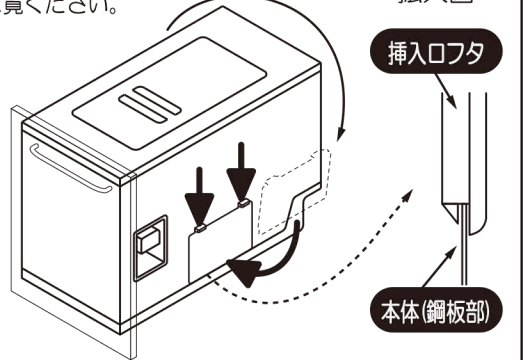
※挿入ロフタは、反対面から取り外します。次項をご覧ください。



①米受皿を引き出し、米受皿挿入ロカバー上部の突起を静かに押えます。



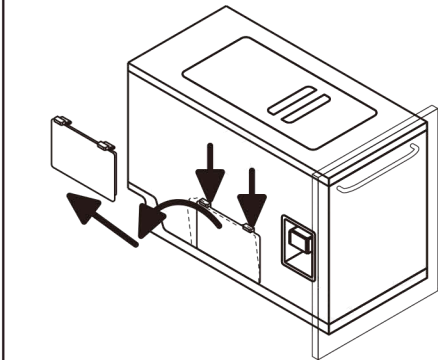
②米受皿挿入ロカバー上部の突起を押えたまま、カバー全体を前に引き出すとカバーが外れます。



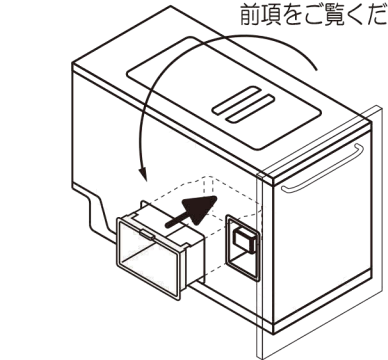
③挿入ロフタは、最初に下側の突起を差し込み、次に上側の2カ所の突起を押えながら、本体にはめ込みます。

挿入ロフタ⇒受皿挿入ロカバー

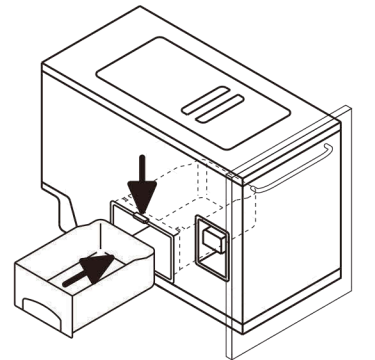
※米受皿挿入ロカバー・米受皿は、反対面から取り外します。前項をご覧ください。



①挿入ロフタの2カ所の突起を静かに押えながら、フタ上側を外し斜め上にフタを引いて外します。



②米受皿挿入ロカバーを、挿入ロフタを外した穴に静かに差し込みます。



③米受皿挿入ロカバー上部の突起を押えながら、本体にはめ込みます。カバーを取り付けたら米受皿を差し込みます。

※挿入ロフタ下側の突起で本体に取り付いていますので、折らないように注意してください。

毎度お買い上げありがとうございます。製品については万全を期しておりますが、万一品質に不都合な点がありましたら、右記までご連絡ください。

製造元

株式会社

マッキンリー